

Casting Our Eyes
on the Future

視線はまっすぐ未来へ



Financial Report

第93期中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日



Ahresty
株式会社 アーレスティ

証券コード：5852

Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research (研究・開発)、Service (サービス)、Technology (技術) において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

製品別概要



ダイカスト事業

高い技術を駆使し、自動車のエンジン、足回り、ボディなどのダイカスト製品を製造・販売しています。

アルミニウム事業

缶、サッシ、自動車スクラップなど、多様な原料をもとに、高品質のアルミニウム合金地金を製造・販売しています。



完成品事業

コンピュータールーム、クリーンルームなどの建築用床材料等を製造・販売しています。



[a:resti]

これからは、より質の高い
 Research、Service、Technologyを
 追求していきます。

アーレステイはR・S・T、Research、Service、Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、Rは単に研究・開発だけでなく、どうしたらもっとお客様のお役に立てるかの創意と探求、Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、お客様とのすべての接点で、そしてTはこのRとSをささえる知識と技術を考えています。この社名に込められた企業理念を大切に生かし、様々な製品を通して、広く社会のお役に立ちたいと願っております。

CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営基本方針	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
事業の概況	5
事業別の概況	6
四半期連結財務諸表	7~8
トピックス	9
株式情報・会社の概要・株主メモ	10

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第93期第2四半期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいる所存です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



代表取締役社長

高橋 新

経営
基本方針

常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

(1) 経営の基本方針

当社の社名アーレスティは、ResearchのR、ServiceのS、TechnologyのTを続けて読んだものであります。Researchとは絶えることのない新技術・新市場・新しい販売方法の開発・研究調査、Serviceとは人と人とのふれあいのなかで本当に行き届いた温かいサービス、Technologyとは世の中に役立つ真によいものをハードとソフトも含めて創ってゆく技術を意味します。このRとSとTは、お互いに深く支え合いながら、お互いをよりすばらしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。私たちは、このような考えのもとにResearch、Service、Technologyを統合した思想を企業理念として「アーレスティ」を社名としております。

当社の長期的な経営の方向性を示した「アーレスティ10年ビジョン」では『すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業』をめざすことを基本の方針とし、

顧客・株主/投資家・従業員・取引先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるための方針を定めておりましたが、このビジョンの基本的な考え方を継承しつつ、ものづくりに焦点を当てた新たな「アーレスティ10年ビジョン」を2012年12月に策定し、「ダイカストを核としたグローバルTOP企業」となることを基本方針に、「ものづくりを究め、ものづくりを進化させる」ことをスローガンとしてあるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。

この10年ビジョンをベースに中期経営方針（1315 3か年アーレスティ方針）では、より具体的な施策・目標値を設定し、更に部門方針へと展開して全社的な活動を推進してまいります。

(2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとするすべてのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グルー

プ子会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員及び従業員は、自らの行動又は業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

環境方針

かけがえのない地球を守るのは私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地球環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
 - 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
 - 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
 - ①大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 - ②廃棄物の再資源化100%を維持します。
 - ③廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 - ④CO₂排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 - ⑤環境に配慮した製品および商品の開発・設計に取組みます。
 - 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的にを行います。
 - 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。
- ～私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします～

事業の概況

Financial Highlights

■企業集団の事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策、金融政策の効果などを背景に、景気が着実に持ち直し、緩やかながらも回復基調となり、企業業績は製造業を中心に改善に向かいました。海外においては、アメリカの景気は緩やかな回復傾向にあり、先行きもこのテンポを維持するものと見込まれます。インドの景気が減速してきており、当面低い成長となることを見込まれるなど、アジアでの景気拡大テンポは一部弱めの動きも見られ、緩やかなものにとどまりました。

このような環境の中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高58,111百万円（前年同四半期比11.5%増）、営業利益855百万円（前年同四半期比130.7%増）、経常利益779百万円（前年同四半期は経常損失67百万円）、旧浜松工場の跡地の売却による特別利益を計上したこと等により、四半期純利益2,428百万円（前年同四半期は四半期純損失524百万円）となりました。

■事業別売上の状況

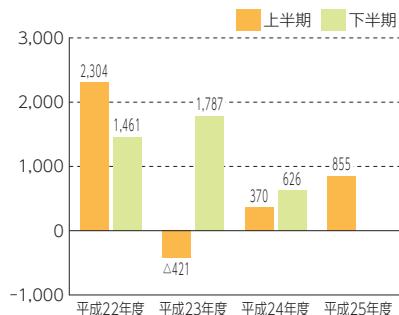


ダイカスト	54,887百万円
アルミニウム	2,228百万円
完成品	995百万円

■業績の推移 (連結)

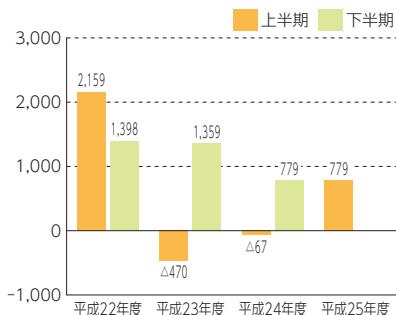
■営業利益

(単位:百万円)



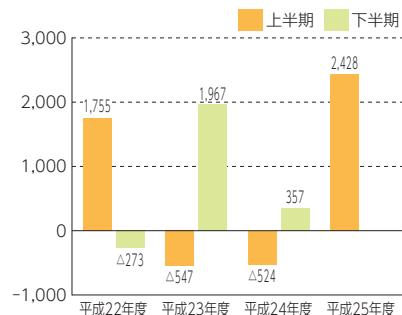
■経常利益

(単位:百万円)



■四半期純利益

(単位:百万円)



事業別の概況

Financial Highlights

ダイカスト事業

① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、国内向け軽自動車の販売好調や消費増税前の駆け込み需要対応等によるプラス要因があったものの、エコカー補助金の終了等による影響により生産が減少しました。当社においてもこれらの影響を受け、売上高は29,383百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。収益面においては、減価償却方法の変更及び生産性改善等によりセグメント利益は1,353百万円（前年同四半期比1,160.5%増）となりました。

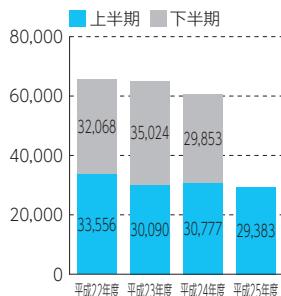
② ダイカスト事業 北米

北米では、アメリカでの好調な自動車販売の影響を受けて受注が増加したことに加え、円安基調にある為替の影響により、売上高は15,336百万円（前年同四半期比43.3%増）となりました。収益面においては、設備投資による固定費の増加影響等により、セグメント損失は25百万円（前年同四半期はセグメント利益496百万円）となりました。

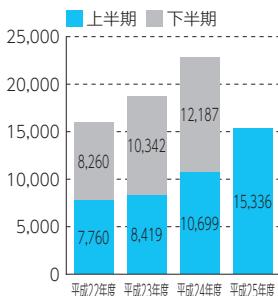
③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、日中関係の動向を受けて減少した自動車生産が回復しつつあることにより、当社においても受注が増加しました。インドでは、新規製品の量産本格化により受注が増加しました。これらの要因に加えて、円安基調にある為替の影響により、アジアでの売上高は10,166百万円（前年同四半期比25.7%増）となりました。収益面においては、インド及び中国での先行投資による固定費の増加影響等により、セグメント損失は496百万円（前年同四半期はセグメント損失263百万円）となりました。

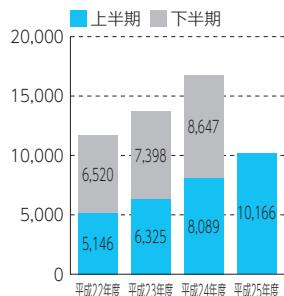
■売上高 日本 (連結)
(単位:百万円)



■売上高 北米 (連結)
(単位:百万円)



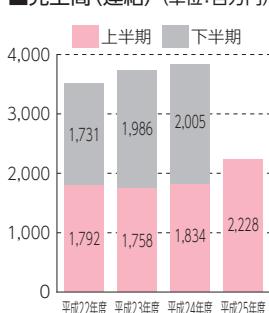
■売上高 アジア (連結)
(単位:百万円)



アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、二次合金地金の出荷量が前年同期比で9.2%増となったことに加え、為替による影響で販売単価が上がったことにより、売上高は2,228百万円（前年同四半期比21.5%増）となりました。収益面においては使用原材料の高騰の影響等により、セグメント利益は22百万円（前年同四半期比50.0%減）となりました。

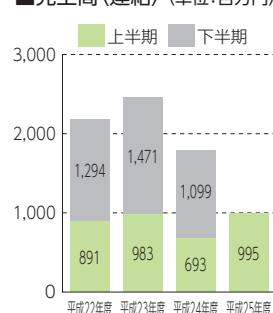
■売上高 (連結) (単位:百万円)



完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業や通信会社のデータセンター向け物件等の受注により、売上高は995百万円（前年同四半期比43.5%増）となりました。収益面においては、増収効果によりセグメント利益は13百万円（前年同四半期はセグメント損失32百万円）となりました。

■売上高 (連結) (単位:百万円)



四半期連結財務諸表

Consolidated Quarterly Financial Statements

■ 四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期末 平成25年9月30日現在	前期末 平成25年3月31日現在	科 目	当第2四半期末 平成25年9月30日現在	前期末 平成25年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	39,353	37,153	流動負債	44,448	40,143
現金及び預金	4,684	6,087	支払手形及び買掛金	12,983	12,418
受取手形及び売掛金	21,903	18,620	電子記録債務	4,095	3,583
商品及び製品	2,778	2,777	短期借入金	8,043	6,315
仕掛品	4,123	3,999	1年内返済予定の長期借入金	9,512	9,406
原材料及び貯蔵品	3,002	2,641	未払法人税等	396	270
その他	2,862	3,028	賞与引当金	1,117	930
貸倒引当金	△ 1	△ 1	製品保証引当金	380	189
			その他	7,918	7,028
固定資産	83,082	73,599	固定負債	32,446	31,273
有形固定資産	72,541	65,150	長期借入金	23,155	22,941
建物及び構築物（純額）	13,749	11,749	退職給付引当金	4,033	3,919
機械装置及び運搬具（純額）	36,956	30,171	その他	5,257	4,413
土地	5,216	5,743	負債合計	76,895	71,416
建設仮勘定	10,691	12,289	純資産の部		
その他（純額）	5,927	5,197	株主資本	41,536	39,100
無形固定資産	1,269	984	資本金	5,117	5,117
投資その他の資産	9,271	7,464	資本剰余金	8,359	8,359
投資有価証券	6,792	5,956	利益剰余金	28,363	25,944
その他	2,479	1,509	自己株式	△ 303	△ 320
貸倒引当金	△ 1	△ 1	その他の包括利益累計額	3,925	161
			その他有価証券評価差額金	2,922	2,365
資産合計	122,436	110,752	為替換算調整勘定	1,002	△ 2,203
			新株予約権	79	73
			純資産合計	45,540	39,335
			負債純資産合計	122,436	110,752

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第 2 四半期累計 平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで	前第 2 四半期累計 平成24年4月 1 日から 平成24年9月30日まで
売 上 高	58,111	52,094
売 上 原 価	52,571	47,072
売 上 総 利 益	5,539	5,022
販売費及び一般管理費	4,684	4,651
営 業 利 益	855	370
営 業 外 収 益	442	170
受 取 利 息	6	12
受 取 配 当 金	65	56
為 替 差 益	250	-
ス ク ラ ッ プ 売 却 益	49	36
そ の 他	71	65
営 業 外 費 用	518	609
支 払 利 息	504	377
為 替 差 損	-	169
そ の 他	13	63
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)	779	△ 67
特 別 利 益	2,306	171
固 定 資 産 売 却 益	2,286	3
補 助 金 収 入	19	168
特 別 損 失	63	96
固 定 資 産 除 売 却 損	53	96
投 資 有 価 証 券 売 却 損	9	-
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	3,022	7
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税	527	645
法 人 税 等 調 整 額	67	△ 112
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	2,428	△ 524
四 半 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 (△)	2,428	△ 524

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第 2 四半期累計 平成25年4月 1 日から 平成25年9月30日まで	前第 2 四半期累計 平成24年4月 1 日から 平成24年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,712	7,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,641	△ 8,820
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 736	206
現金及び現金同等物に係る換算差額	262	△ 117
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 1,403	△ 1,010
現金及び現金同等物の期首残高	6,087	6,688
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,684	5,678

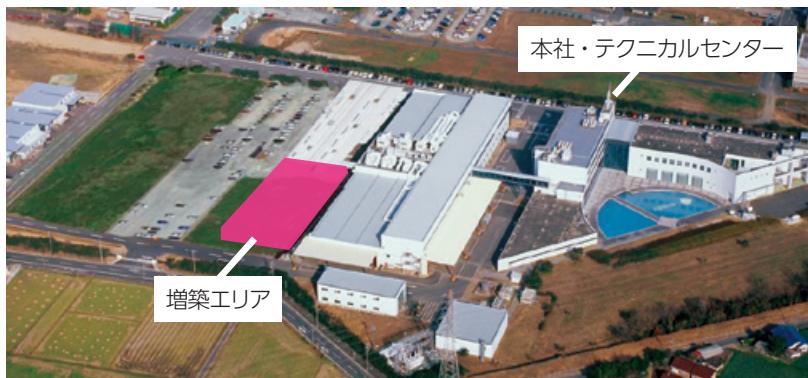
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

● 本店を愛知県豊橋市に移転

本年6月20日開催の第92回定時株主総会決議に基づき、本年10月1日をもって愛知県豊橋市三弥町中原1番2号に本店を移転いたしました。なお、移転後の本店を本社とし、従来の本社（東京都中野区中央1-38-1）を東京本社に変更しております。

● (株)アーレスティプリテック豊橋工場増築

本社・テクニカルセンターの敷地内に子会社である(株)アーレスティプリテック（以下、プリテック）の豊橋工場（当社貸与）の増築が7月31日に竣工いたしました。当社東海工場の集約・再編の一環として、プリテック小豆餅工場を閉鎖しプリテック豊橋工場に集約いたしました。この集約によりプリテックのみならず当社グループとしてより効率的な生産体制を構築してまいります。



本社・テクニカルセンター全景とプリテック豊橋工場増築エリア図

● 中国子会社がエンジンブロック量産納入開始



エンジンブロック

当社子会社である合肥阿雷斯提汽车配件有限公司（以下、合肥アーレスティ）は、日産自動車(株)の中国現地合弁会社、東風汽車有限公司の乗用車事業部、東風日産乗用車公司へのエンジンブロック量産納入を本年8月より開始いたしました。日産自動車(株)向けのエンジンブロック受注は、合肥アーレスティだけでなく当社グループとして今回が初めてとなります。この製品は東風日産が中国で生産する1,500ccクラスの車種に搭載されております。今後とも、品質の優れたダイカスト製品を安定的に供給し、より一層お客様のお役に立つよう努めてまいります。

株式情報・会社の概要・株主メモ

Stock Information・Corporate Information

■株式状況（平成25年9月30日現在）

● 株式数および株主数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	21,778,220株
株主数	4,155名

■大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高橋 新	915	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	914	4.2
(株)三菱東京UFJ銀行	765	3.5
本田技研工業(株)	672	3.1
日本軽金属(株)	657	3.0
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH - CLIENT ACCOUNT	647	3.0
MSCO CUSTOMER SECURITIES	626	2.9
アーレスティ取引先持株会	592	2.7
ザバンク オブ ニューヨーク - ジャスディック ノンブローカー アカウント	591	2.7
スズキ(株)	565	2.6

(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(202,590株)を控除して計算しております。

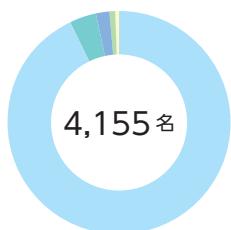
■所有者別株式分布状況

個人その他	34.2%
外国法人等	23.4%
その他の法人	21.2%
金融機関等	19.6%
金融商品取引業者	1.6%



■所有者別株主分布状況

個人その他	93.0%
その他の法人	3.9%
外国法人等	2.0%
金融商品取引業者	0.7%
金融機関等	0.4%



■会社概要（平成25年9月30日現在）

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	51億1,759万円
従業員数(単独)	893名

企業集団の従業員の状況

	従業員数
ダイカスト事業日本	2,089名
ダイカスト事業北米	1,996名
ダイカスト事業アジア	2,342名
アルミニウム事業	54名
完成品事業	29名
全社(共通)	81名
計	6,591名

取締役および監査役（平成25年9月30日現在）

代表取締役社長	高橋 新	常勤監査役	見目 康夫
取締役	石丸 博	常勤監査役	古屋 茂
取締役	野中 賢一	社外監査役	早乙女 唯
取締役	蒲生 新	社外監査役	志 藤 昭
社外取締役	原 隆		

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.ahresty.co.jp

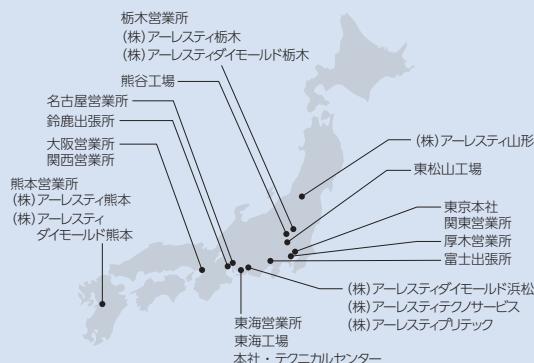
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■事業拠点一覧 (平成25年9月30日現在)

国内ネットワーク



海外ネットワーク



当社ホームページ

<http://www.ahresty.co.jp>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様には最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

Research Service Technology

株式会社 アレスティ

東京本社

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F
 TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037

本社 (本店)

〒441-3114 愛知県豊橋市三弥町中原1番2号
 TEL.0532-65-2170 FAX.0532-65-2163



見やすいユニバーサルデザイン
 フォントを採用しています。



ISO14001:2004認証取得

本社、東海工場、東松山工場、
 熊谷工場、テクニカルセンター、
 株式会社アレスティ栃木、
 株式会社アレスティ熊本、
 株式会社アレスティ山形、
 株式会社アレスティプリテック、
 株式会社アレスティテクノサービス、
 株式会社アレスティダイモールド浜松、
 株式会社アレスティダイモールド熊本、
 株式会社アレスティダイモールド熊本



ISO9001:2008認証取得

JQA-QMA1412
 本社 (但し、商品営業部を除く)、
 テクニカルセンター、東海工場、
 東松山工場、熊谷工場、
 株式会社アレスティ熊本、
 株式会社アレスティ山形、
 株式会社アレスティプリテック



ISO9001:2008認証取得

JUSE-RA-057
 商品営業部及び関連組織 (品質管理部、
 経営企画部、ヒューマンリソース部)